

4. 生活実感・労働実感

物価・仕事量・収益は上昇 ➡ 賃金は減少 ➡ 職場の努力が報われない

■過去最高の働き度だ！

- 新型コロナウイルス対応
- 臨時列車対応
- 休日出勤
- 年末年始のご利用状況
対前年比246%
- 対前年の利用状況
2021年度 対前年122%
(2022年1月まで)
- 生産性の向上
 - ・各種施策への協力
 - ・BUYJR運動の展開
 - ・委員会活動
- 構造改革への寄与
 - ・コストダウン
 - ・業務の見直し

■2022年は怒涛の物価上昇が始まる！

パン類6.8～9%、パスタ・ソース2～9.5%、乾麺1.5～5.5%、冷凍食品4～13%、ちくわ・かまぼこ等5～13%、ハム・ソーセージ5～12%、醤油4～10%、コーヒー10～17%、マヨネーズ3～9%、ポテトチップス7～11%、ガス料金84～113円、電気料金85～164円、小麦粉1.5～9%、文房具平均約8%、食用油(1kg当たり40円以上、アルミホイル15%以上、ウイスキー5～28%、照明器具・蛍光灯5～30%、首都高速道路通行料金630円、バス・トイレ製品最大40%、チルド麺6～12%、冷凍麺製品6～13%



■賃金は過去最大の減収

- 夏季手当2ヶ月、年末手当2ヶ月
- 定期昇給「昇給係数2」カット
- 年収10%減少
 - ・ローンが支払えない
 - ・貯蓄が出来ない
 - ・モチベーションが上がらない
 - ・若手の退職者増加 etc

ポイント

生活実感・労働実感の現状を出し合おう！

努力が報われない現実をみんなで変えよう！

第3四半期決算(単体) 1月31日発表

営業収益 対前年1936億円の増収(対前年比121.8%)
 純利益 対前年1605億円の増
 営業費用 対前年570億円の減(人件費対前年132億円減)
 純資産 1兆9033億円

2021年10月～12月の連結営業損益は **黒字**

注目!

第3四半期決算に関する電話一斉取材
主なQ&A(2022.1.31)

対計画では運輸事業では運輸収入が計画を約290億円上回ったほか、コストダウンも進んでいることから、計画よりも好調に推移している。



▲J R東日本発表

ポイント

職場の努力により、「対前年の収益が向上」「2021年10～12月は黒字」「会社計画より好調」であることを認識しよう！会社は賃上げをするべきだ！

このような回復基調の中、会社は賃上げに対し、「厳しい」という姿勢を明らかにしています。

問題 2022年賃上げが可能？ (2022年初 企業幹部のコメント要旨)

航空業界 **はい**
 黒字化を目指すと同時に社員の賃金を元に戻す。
 今、3割くらいの年収カットを元に戻していく

コンビニ業界 **はい**
 業績が上がっていく、生産性が上がっていく、そうした中できちっとした報酬をとってもらう。
 当然の仕組み

百貨店業界 **はい**
 緊急事態宣言で売り上げも大きく影響を受けてしまった。
 10月以降は非常に良い業績に結び付いている

J R東日本 **いいえ**
 ベースアップこれは非常に厳しい。賃上げ全体に対して厳しい環境にある。
 定期昇給も普通の半分にしてるので定期昇給をまずどうするか。そこからの議論

ポイント

この経営姿勢に、J R東労組がモノを言わなければどうになってしまうのか議論しよう！

5. 要求実現のためには組織拡大が必要だ！

この間、会社は業績が好調の時は「突出感」、赤字の時は「足元の業績」、回復基調の時は「好循環」を理由に賃金を抑えてきました。この職場の努力に報いない会社姿勢を認めてしまえば、私たちの労働条件は低下する一方ではないでしょうか？ やはり、経営のチェック機能として会社にモノを言うJ R東労組が必要です。

私たちの要求を実現するために必要なのは力(労働組合の組織力)です。だからこそ、未加入の仲間からのJ R東労組への組織拡大が必要なのです。

21春闘では、「掲示板を活用したたたかい」「本部交渉団へ賃上げへの思いを集約するたたかい」を行いました。22春闘ではこのたたかいに加え「組合員一人ひとりが未加入者に対してJ R東労組への再加入を呼びかけるたたかい」が必要です！

好調の時 「突出感…」 ➡ 赤字の時 「足元の業績…」



不況の時のために、お金を貯めていたんじゃないの…



要求を実現するため、全組合員が組織拡大のたたかいを実践しよう！